

## 2013年度東京大学入試問題研究会(英語分科会資料)

### 【大問1-(A)】

#### ■受験生アンケート情報

- 難易度評価：3.11（難易度を、1：難、2：やや難、3：普通、4：やや易、5：易の5段階でポイント化し、アンケート回答者100名の平均値を算出。合格者・不合格者混合の数値。数値が3より大きくなると「易しい」、3より小さくなると「難しい」という評価を意味する。）
- 平均解答時間：11.41分（アンケート回答者100名の平均値を算出。合格者・不合格者混合の数値）

#### ■司会者解答(Z会の模範解答ではありません)

クモの巣の強さは、素材自体の柔軟性と全体を守るために局所的損傷を許容するという構造上の原理に基づいている。この原理は、建築工学や情報通信網の設計にも応用しうる。

#### ■解答作成時に考えたこと

- 第1段落第2文で、「クモの巣の強度は、素材自体の強さだけではなく、構造の特徴による」と論旨が提示されている。「構造の特徴」に内容的な重点が置かれているようだが、「素材の性質」についてはどれほど言及すべきだろうか？第2段落でそれなりに字数が使われているので、触れないわけにはいかない。
- 第6段落第2文：The principal of permitting localized damage so that an overall structure can survive「全体の構造が機能し続けるように局所的な損傷を許容するという原理」という表現に、第3～5段落の内容が端的に集約されているので、この表現を中心に答案をまとめるのがよいだろう。
- 「クモの巣の構造上の原理は、耐震建築やコンピュータネットワークシステムの設計にも適用できる」の箇所については、耐震建築とコンピュータネットワークの双方について言及しなければ片手落ちとなるだろう。
  - ⇒ earthquake-resistant buildings「耐震建築」という言葉が最もイメージしやすいが、For example～という表現の後ろに置かれているのが気になる。「要約には具体例を入れるな」と教わった記憶が…。
  - ⇒ 「コンピュータネットワークの設計」と15字も使うわけにはいかない。どんな表現で字数を圧縮すればよいだろうか。

#### ■再現答案を概観しての所見

- 解答には、以下の4点を盛り込むべきであるが、この4点をバランスよく盛り込み、論理関係を正しく繋げている解答は少ない。
  - ①クモの巣が丈夫な理由1：加わる力に対して柔軟に反応する素材の性質
  - ②クモの巣が丈夫な理由2：全体の構造を守るために局所的な損傷を容認するという構造上の原理
  - ③クモの巣の原理の利用可能範囲1：建築工学（耐震建築）
  - ④クモの巣の原理の利用可能範囲2：コンピュータネットワークのセキュリティ対策
- 上記の4つの要素うち、特定の一要素に字数を使いすぎると、本文全体を縮約した要約文にならな

い。受験生は「標準よりやや易しめ」と感じたようであるが、受験生が思っているほど得点が与えられていないのではないだろうか。

- 第2段落を単語・構文レベルで表面的に読んでいるだけで、意味内容をイメージ化できていないように感じられる答案も目立った。

**■要約指導に係る情報共有**

- 日常の指導の中で、要約演習を行われることがあるか。行われている場合は、題材、時期、分量、指導方法（添削指導の有無）などについてお聞かせください。

**【大問1－(B)】****■受験生アンケート情報**

- 難易度評価：3.07
- 平均解答時間：9.83分

**■アンケート・再現答案を概観しての所見**

- 正答率については、別紙の EXCEL シートを参照のこと。正答率が低いのは、(3)(5)。その他の空所は、正答率が約7割となっている。
- 昨年までのパラグラフ整序に比べると、気分的にも解き易くなった感がある。受験生も同様に感じたようである。解き易かった分、ある意味、得点差につながりやすい大問であったかもしれない。特に、昨年までの過去問演習を通じて、いわゆる「捨て問題」と割り切っていた受験生にとっては、痛い失点になったはずである。43%の受験者が、最後に解答している。

**■読解指導に係る情報共有**

- 日常の Reading 指導の中で、英文内の情報配列（センテンスAとセンテンスBは同意文、パラグラフDはパラグラフCの具体例、記述Eと記述Fは因果関係、記述GとHは対比表現、ディスコースマーカによる論理展開の確認など）を意識させるために工夫されていること、心掛けておられることがありましたらお教え下さい。

**■参考英文**

It is biologically impossible for evolution to produce a terrestrial animal much bigger than an elephant. It might possibly produce a reasonably efficient animal twice as heavy as an elephant: but an animal four times as heavy as an elephant just would not work. The same thing applies to cities. Cities should be machines for civilized living. As such, they can be made to work up to two million, at a pinch up to three or four million, but further increase makes life in them less and less civilized. It brings increasing congestion, increasing time devoted to daily commuting, increasing traffic problems, until they grind to a halt, seize up, or choke themselves.

## 【大問2-(A)(B)】

## ■受験生アンケート情報

- 難易度評価 : (A) 3.13 (B) 3.00  
 ○ 平均解答時間 : (A) 10.71 分 (B) 11.1 分

## ■司会者解答(Z会の模範解答ではありません)

(A)

Y : Look at that cloud over the forest! You can see a cloud which has an interesting shape!

X : Well..., I've found it! Yes, you are right! It has the perfect shape of a heart!

Y : Why don't you tell your wife what you are watching now?

X : Yes, I will call her immediately. In fact, today is the tenth anniversary of our marriage. That will be the best present for her!

(B)

The most important lesson I learned is that we should analyze the cause of a failure. I learned this from my soccer club activity. When our team lost a game, we always discussed the reason for the defeat. This process dramatically made us stronger. We can keep improving ourselves in every field of our lives by remembering this lesson.

## ■解答作成時に考えたこと

- (A) ・「何度でも発言OK」は字数調整がやりやすくありがたい。  
 ・盛り込む要素としては、①女性が木の方にある何かを指差している、②男性が、耳を澄ますか、携帯電話で話をしているような仕草をしている、の2点。男性と女性の関係は、特に限定なし。  
 ・雲 : cloud って可算名詞か…? 「完全なハート型」は、the perfect shape of a heart でよいのだろうか…?  
 ・見直しの時に、X : Yの人物指定を逆に書いていることに気付いた。
- (B) ・盛り込む内容としては、①最も大切だと思うことの提示・定義、②どこで、どのようにそれを学んだのか、③何故それが一番大切だと思うのか、の3点。60語以内に収めることができるか…。一度思いついた内容で書き始めると、軽く90語を超えた。名詞表現を多用して字数削減をすすめるが、なかなか60語に収まらず、かなり時間をとられた。  
 ・This process dramatically made us stronger. の dramatically は文末においた方がよいのか…?  
 ・冠詞と名詞の単複の使い分けに自信が持てず。the cause of a failure、in every field of our lives はこれでよいのか…? 「失敗 : failure」って可算名詞か? every の後ろに置く名詞は単数?

## ■司会者解答(ネイティブAに添削してもらった英文。下線部が修正箇所)

(A)

Y : Look at that cloud over the forest! You can see a cloud with an interesting shape!

X : Hmm..., I've found it! Yes, you are right! It has the perfect shape of a heart!

Y : Why don't you tell your wife what you see now?

X : Yes, I will call her immediately. In fact, today is the tenth anniversary of our marriage. This will be the best present for her!

(B)

The most important lesson I learned is that we should analyze the cause of a failure. I learned this from my soccer club activity. When our team lost a game, we always discussed the reason for the defeat. This process made us dramatically stronger. We can keep improving ourselves in every field of our lives by remembering this lesson.

### ■司会者解答(ネイティブBに添削してもらった英文。下線部が修正箇所)

(A)

Y : Look at that cloud above the forest! It has such an interesting shape!

X : Which one? Oh yes, I see it! Yes, you're right! It's perfectly heart shaped!

Y : Why don't you tell your wife what you're seeing right now?

X : Yes, I'll call her immediately. In fact, today is our tenth wedding anniversary. It'll make a great present for her!

(B)

The most important lesson I learned is to analyze the causes of our failures. I learned this from my soccer club activity. When our team lost a game, we always discussed the reasons for the defeat. This process made us immensely stronger. We can keep improving ourselves in every aspect of our lives by adopting this practice.

### ■再現答案を概観しての所見

- (A)については、「男性が、耳を澄ますか、携帯電話で話をしているような仕草をしている」ということを反映させていない答案が目立つ(例：⑥⑬⑱)。また、前出の発話と同じ内容を反復しているだけの会話を創作している受験生も多い(例：⑨⑮⑲)。内容に関する評価点があれば、マイナス要因となる可能性がある。ストーリー性のある会話の展開を考えて欲しい。
- (B)については、文法・構文上のミスより、センテンス間のストーリー展開や理由付けに不自然さを感じる答案が目立つ(例：③⑤⑥⑬⑮⑳)。単なる一般論を書いている答案もある(例：⑱)。
- 文法・構文上の **common error** については、別紙の再現答案をご参照ください。全体的に、文法・構文で大崩れしている感はないが、中には<SV~, 接続詞 SV~>という英文の骨格が崩れたセンテンスが書かれている答案もある(例：⑭)。ワンセンテンス内にSV~の構造を増やすためには、必ず接続詞が必要という意識付けを行っていただきたい。等位接続詞 **and** の前後に、文法的に対等でない要素が置かれている答案もある(例：⑪)。また、東大受験生であることを考えると、<知覚動詞+O+C>の語法における、Cの部分に入れる準動詞の形が不適切な答案が目立つのは大変残念である(例：⑤⑫)。また、不定詞の意味上の主語が不適切な答案もある(例：⑤)。
- 重点的に指導、意識付けしておきたい項目は、以下の通り。以下の点の多くは、弊社「英作文のトレーニング はじめる編」で非常にうまく整理されている。宣伝となり恐縮だが、大変よくできた参考書だと思うので、ぜひ一度ご覧いただきたい。
  - ・ 冠詞の用法(例：⑥)
  - ・ 名詞の単数形と複数形の使い分け(例：⑩⑮⑱⑳)
  - ・ 時制の選択。特にセンテンス内での時制のねじれが目立つ。(例：①④⑩⑮⑱⑲)
  - ・ シンプルな修飾表現。不要な関係詞節の多用を避けること。(例：①⑥⑩)

- ・ 副詞句の選択と位置 (例：②)
  - ・ 動詞の語法。自動詞／他動詞の区別など。(例：④⑧⑬)
  - ・ 否定表現に伴う呼応 (例：①②)
  - ・ 同格の **that** 節が使えないケース (例：⑦)
  - ・ <such a 名詞>の形で形容詞を共起させていない (例：②⑧)
  - ・ 会話文における短縮形の未使用／既出名詞の反復＝代名詞の未使用 ⇒ 語数調整の方法として
- 英作文で使えるボキャブラリーがやや少ないように感じた。

#### ■情報共有テーマ

- 貴校でのライティング指導 (高1・高2・高3時の到達目標、使用されている教材、演習量、添削指導の有無など) についてお教えてください。

**【大問3-(A)(B)(C)】****■受験生アンケート情報**

- 難易度評価：3.70
- 平均解答時間：33.18分
- 解答順序を見ると、大問3の着手順（中間単位）を、「4番目」と答えた受験生が32%、「5番目」と答えた受験生が54%となっている。リスニング放送開始までに、中間3～4題の解答を進めている受験生が多いようである。

**■アンケート・再現答案を概観しての所見**

- 正答率については、別紙のEXCELシートを参照のこと。正答率が低いのは、以下の設問。
  - (A)－(3)：紛らわしいダミーの選択肢が2つある。
  - (C)－(1)：選択肢ウで誤答している受験生が多い。疑問詞 **where** 一語をしっかりと聞き取らないと正解できない。
  - (C)－(4)：発言全体の主旨の把握が必要。その他の設問の正答率については、ほぼ全問7割を超えている。再現答案を見ても、大半の受験生が不正解を2問までに抑えている。
- 数値の聞き分け (**seventeen** と **seventy**)、簡単な計算、推論が必要となる問題も出題されているが、いずれもよくできている。
- アンケートのコメントを見ると、リスニング放送開始前に、問題・選択肢を通読している生徒も多い。1回目の放送で自信を持って正解できた場合は、2回目の放送を聴かず、他の問題を解いていたというアンケート回答も散見された。

**■情報共有テーマ**

- 貴校でのリスニング指導（高1・高2・高3時の到達目標、使用されている教材、演習量など）についてお教えてください。特に、センター試験以上のリスニング対策が必要な生徒様に、どのような指導を行われておりますか。

## 【大問4-(A)】

## ■受験生アンケート情報

- 難易度評価：2.35
- 平均解答時間：7.43分

## ■アンケート・再現答案を概観しての所見と問題についてのコメント

- 正答率については、別紙の EXCEL シートを参照のこと。かなりの難問となったようで、(3)に至っては正答率5%。この大問を「捨て問題」と割り切って、時間をかけずに解答している生徒も多い。
- 文法・構文知識を使った判断はもちろん必要であるが、むしろ文章の論理展開や指示語の内容把握力がポイントとなる出題である。
- 正解は以下の通り。
  - (1) Personal (**information is the fuel that powers**) online social networks, ~
  - (2) a close look is now being (**taken at the way all that**) information is collected, used, and protected, ~
  - (3) They argue, for example, that users who face a lot of detailed questions about (**how they want access to their**) information controlled before they even start using a service may become confused ~ : 文意は、「例えば、オペレーター達は以下のように主張します。ユーザーがサービスを使用する前にさえ、彼ら(=ユーザー)が、(企業などが持つ)自分たちの(=ユーザーに関する)情報の使用権をどのように(企業によって)管理されたいかに関する細かい質問をたくさんされたら混乱するかもしれないし~」となる。
- (3)については、They argue, for example, that users who face a lot of detailed questions about (**how they want to access their**) information controlled before they even start using a service may become confused ~ と誤答した受験生が非常に多いようである。この語順であると、以下のような意味となり文意が通らない。「例えば、オペレーター達は以下のように主張します。ユーザーがサービスを使用する前にさえ、彼ら(=ユーザー)が、(企業などによって)管理された自分達の(=ユーザーに関する)情報をどのように取得したいかに関する細かい質問をたくさんされたら混乱するかもしれないし~」⇒「企業が管理しているユーザーに関する情報を、ユーザー自身が取得する」というのは文脈上成立しない。

## ■情報共有テーマ

- 今年度より新指導要領がスタートしましたが、貴校における文法指導の位置付け、指導方法に大きな変更はございますでしょうか。



## 【大問4-(B)】

## ■受験生アンケート情報

- 難易度評価：2.80
- 平均解答時間：12.6分

## ■司会者解答(Z会の模範解答ではありません)

- (1) 以前の考えを再現するように求められると、実験の被験者達は、その代わりに、説得力のある意見を聞かされた後に抱くようになった現在の考えを繰り返してしまうのである。
- (2) 過去の考えを再現できないのであれば、必然的に、自分が過去の出来事によってどれ程驚かされたのかを、過小評価してしまうことになるのである。
- (3) ある決定が悪い結果になるという前兆は、結果が出る前には認識しづらいということ。

## ■解答作成時に考えたこと

- (1) ・ 構文の把握は容易。
  - ・ ones = beliefs も容易に把握できる。「彼らの現在の考え」と訳させたいだけなら、わざわざ「their current ones の内容が分かるように」と指示しないだろうから、their が誰のことか、過去との対比で current の具体的意味まで説明するよう求めているのだろう。「実験の被験者達が、説得力のある意見に影響されて抱くようになった現在の考え」まで説明的に訳出しておくのが無難だろう。
  - ・ reconstruct の訳語は何が良いだろう。「考えを再構築する」だとやや不自然か？
  - ・ repeat は、そのまま「繰り返す」でよいのだろうか。
- (2) ・ こちらも構文は平易だが、Your inability cause you to underestimate ~ の無生物主語の訳出に結構時間がかかった。inevitably「必然的に」という語から、「～できないのであれば、必然的に～を過小評価することになる」と条件節的に訳すのが書きやすかったので上記のような訳となった。
  - ・ surprise は、「～を驚かせる」とストレートに訳して良いのか？「どれ程影響されたのか」くらいに訳した方が良いのかもしれないが、実際の試験現場であればそうやって書く勇気はないだろう。
- (3) ・ こちらも構文は平易。they = the signs「決定の結果が悪い結果をもたらすという前兆」も把握は容易。「物事の前兆は、後になってはじめて見える、目に見えないインクで書かれている」が文意であるから、前兆というものは、結果が明らかになる前には認識できないものだ」といった内容を書けば良いだろう。この解答も40字に収まらず字数調整に苦労した。文末がやや気持ち悪い。

## ■再現答案を概観しての所見

- (1) ・ 構文の把握で躓いている答案はほとんどない。
  - ・ 合格者の答案でも、current ones を「説得力のある意見を聞かされた後に抱くようになった／に影響された後の現在の考え」まで訳出している答案は稀である。
- (2) ・ こちらも構文で躓いている答案はほとんどない。the extent to which SV~ の構造が分かっている答案が若干ある程度である。無生物主語の訳出も、大半の答案がうまく訳出できている。
  - ・ underestimate の語義を知らないと思われる答案、知っていても「過小評価する」以外の語を選択しようとして、かえって意味が分かりづらい訳文となっている答案が散見される。構文が平易な分、このように若干難易度が高い単語を知らないと、他の受験生に差をつけられる原因となるように思われる。

- ・日本語の操作力の程度によって、答案の完成度が変わってくる問題である。
- (3)・意外と書けていない。内容はつかめているが、答案のまとめ方で苦戦している感がある。
- ・「物事の結果は事前には分からない」という「予兆・前兆・兆し」についての言及が含まれていない答案が散見された。they = the signs であると理解していることが分からないため、減点対象となるだろう。

#### ■情報共有テーマ

- 先述の通り、構文把握の段階で躓いているようでは、合格レベルの答案を書くことはできません。構文把握の土台を完成させるためのトレーニングとしてどのような指導が行われているかお教えください。構文学習のために使用されている教材、その活用方法、使用時期などをご説明ください。また、添削指導は行われているのでしょうか。

## 【大問5】

## ■受験生アンケート・再現答案情報

- 難易度評価：2.17（司会者が解答した感触では比較的読みやすいと感じたが、受験生にとっては全大問／中間の中で、最も難しく感じた問題となっている。）
- 平均解答時間：21.89分
- 客観式問題の各小問正答率は、別紙の EXCEL シートをご参照ください。半分の設問で正答率が 50% を切っており、受験生にとってはやや難しい出題であった。特に（2a）（4）（7）が解きにくかったようである。

## ■司会者解答と答案作成時に考えたこと(記述問題のみ)(Z会の模範解答ではありません)

- (8) 私は、あの距離からでは、あるいは裸眼では決して見ることができなかったはずのものを、つぶさに思い出すことができたのである。
- ⇒ こちらも構文の把握は容易。cannot possibly do ～ は「どうしても／決して／絶対に～できない」でよい？

## ■再現答案を概観しての所見

- (1) 意外と正答率が低い。出題自体が意外である。
- (2) (2a) より (2b) (2c) の方が正答率が高いことが意外であった。way、all、that、as を含む表現は、東大が繰り返し出題しているので、これらの語については、一度辞書を通読しておいてもよいだろう。without in any way ～ing : 「決して～することなく」をこれだけ正解できているとは思わなかった。
- (3) よくできている。
- (4) 誤答ではア、オが多い。イと間違えるかと思ったが意外である。
- (5) 誤答ではイが多い。
- (6) よくできている。
- (7) 誤答ではイが多い。特殊な文法問題と考えられる内容であるが、出題の意図が分からない生徒がいたかもしれない。長文問題中で、(1)(7)と2題も文法がらみの問題が出題されたのは意外である。

## ■情報共有テーマ

- 読解問題集に小説文が入っているケースは少ないと思いますが、意識的に小説文を読ませる機会を生徒様に与えておられますか。
- 東大英語は制限時間が非常に厳しいと言われます。普段の授業において、読みのスピードを向上させるための指導を意識的に行われているでしょうか。